

# 「高千穂郷」通信

平成16年 6月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.18

「全国野鳥保護のつどい」開催記念特集



TR高千穂駅を午前5時に出発



日之影温泉駅で五ヶ瀬川の川鳥観察  
川中の岩の上にカワガラスを発見



ファミリーで参加された方もいらっしゃいました。



## TRトロッコ列車に乗って 早朝探鳥会



高千穂鉄橋の上から、ブッポウソウを発見  
高千穂鉄橋に巣を作っている模様

「TRトロッコ列車に乗って早朝探鳥会」が、全国野鳥保護のつどいにより、六月二十七日宮崎県実行委員会主催により、六月二十七日に行われた。参加した約五十名は、午前五時に、窓をはずしたトロッコ列車で出発し、高千穂駅から日之影温泉駅まで、その途中、日之影温泉駅で下車し、野鳥を観察しました。鉄橋にそのあと、野鳥を観察しました。

### 高千穂町の鳥 「ホオジロ」に決定



写真提供：日本野鳥の会宮崎支部会員中村豊さん

### 第59回愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」

来年5月15日(日)に、高千穂町総合運動公園で開催されます。

「鳥たちと神話の森にうたう夢」



# 「全国野鳥保護のつどい」開催記念 「野生のいきものふれあい講話」

来年五月に開催される「全国野鳥保護のつどい」のプレイベントとして、五月二十三日、高千穂町総合運動公園で行われました。

当日は、西臼杵郡内の児童や保護者など、約百人が午前七時に集合し、野鳥観察会、記念講話、野鳥クイズ、巣箱づくりが行われました。



野鳥観察会では、双眼鏡をのぞいたり、鳥の鳴き声を聞いたりして、確認できた鳥をチェックシートに記入していました。



野鳥観察会で案内役をしていただいた日本野鳥の会の皆様。左から永田敏治先生、長嶋和子先生、甲斐幸一先生、菊池尚之先生。



記念講話では、永田先生が「野鳥のよもやま話」と題して、鳥の絵やCDを使って鳴き声の紹介をしながら、楽しいお話をいただきました。



野鳥に関するクイズが行われ、大変盛り上がりました。



石野田支庁長が、会場で自ら作った巣箱を、高千穂町の公舎の庭に設置したところ、早速、シジュウカラが住みつき巣づくりをしています。



巣箱づくりは、県建設業労働組合西臼杵支部、県建築士会高千穂支部、県建築業協会高千穂支部の協力を得て行われました。親子などが力を合わせながら、楽しそうに作っていました。

野鳥クイズにチャレンジしてみてください。

- (第1問) 日本に棲んでいる野生の鳥の中で、鳴き声特にきれいな3種類の鳥のことを日本の三鳴鳥と言っている。そのうちの2種類はコマドリとオオルリであるが、残りの1種類はカッコウである。
- (第2問) 人が食べ物を消化するには、約8時間かかると言われるが、鳥が食べ物を消化するのにかかる時間は、人の2倍の約16時間である。
- (第3問) 地面や道の上などに鳥のヒナが落ちていときは、すぐに拾って届けなければならない。

【答え】

- (第1問) × (正解はウグイス)
- (第2問) × (正解は1時間から1時間半程度。鳥は主に空を飛んで移動するため、人以上に体に大きな負担がかかります。消化時間を短くすることで、飛ぶときの負担を小さくしているのです。)
- (第3問) × (親鳥は近くに姿が見えなくても、必ずヒナの所に戻って世話をします。人がそばにいと、親鳥はかえってヒナに近寄れませんので、そのままにしておくことが大切です。また、猫などが近くににいる場合は、近くの木の枝先等、猫が近寄れないところにとまらせておきましょう。)

# 様々な防災に関する行事が開催されました

## 土砂災害防止教室開催



説明を聞く宮水小学校の児童



支庁土木課の岡部主査がパソコンを使って説明

6月24日に、日之影町立宮水小学校（藤崎義昭校長、児童数100名）で開催しました。

土砂災害防止教室は、土砂災害防止月間に、小学生の時から土砂災害に関心を持ってもらおうと毎年実施しています。

当日は、パソコン、ビデオやパンフレットを使って、「土石流」、「地すべり」、「がけ崩れ」の三つの土砂災害について支庁土木課の職員が説明しました。

また、「日頃から土砂災害の原因となる雨量に関心を持ってください。」と簡易雨量計が全員に配られました。

## 山地災害防止キャンペーン



山地災害に関する情報の提供を行い、山地災害に備えるための「山地災害防止キャンペーン」は、毎年5月20日から6月30日まで行われます。

支庁においても、1階ロビーに山地災害に関するポスター及びパネル展示やパンフレット配付を行いました。

## 土砂災害防止講座開催

6月8日に五ヶ瀬町町民センターで開催しました。土砂災害防止講座は、土砂災害防止月間（6月1日から6月30日）に毎年開催しており、今年は約70名が参加しました。



講師は、宮崎県砂防ボランティア協会の坂本昇さん

講座では「土石流が起こる前には、山鳴りや立木の裂ける音、石のぶつかりあう音が聞こえたり、雨が降り続けているのに川の水位が下がるなどの前ぶれがある。また、逃げるときは、土砂の流れる方向に対して直角に逃げましょう。」などの話がありました。

## 災害危険箇所点検



高千穂町

西臼杵郡各町は、梅雨や台風の出水期を前に各関係機関（警察、消防、支庁）とともに災害危険箇所の現地地点検を行い、災害の未然防止を図るため、その対策を検討しました。



日之影町



五ヶ瀬町

## 西臼杵郡乾しいたけ生産者大健闘



700g香菇(こうこ)部門で1等を受賞した五ヶ瀬町甲斐松男氏の乾しいたけ

「第49回宮崎県乾しいたけ品評会表彰式」が5月26日、宮崎市霧島町のJAZM大ホールで開催され、団体の部で五ヶ瀬町が2年連続で第3位を獲得しました。

また、品評会には769点の出品があり、うち261点が入賞しましたが、このうち、西臼杵管内からは、53点が入賞するという輝かしい成績を収めました。

西臼杵産乾しいたけの品質の良さや安定した技術力が高く評価されました。

## 「緑の募金」に御協力ありがとうございました

平成16年度西臼杵地区春の「緑の募金」の総額は、295,038円となりました。

御協力ありがとうございました。今年度の「緑の募金」による事業は、高千穂町立高千穂小学校、日之影町立宮水小学校、県立五ヶ瀬中等教育学校に、花の苗や樹木、樹名板、創立10周年記念樹（五ヶ瀬中等教育学校）等を贈呈する予定です。

## 下野西集落が県代表でむらづくり事例発表 ～九州ブロックむらづくり審査会～

「平成16年度九州ブロックむらづくり審査会」が6月8日、熊本市の九州農政局で開催され、九州各県の代表7組（各県1組）が活動内容を発表しました。



むらづくりについて熱く語った江藤新平さん

同審査会は、農山漁村におけるむらづくりの優良事例の業績発表・表彰を通じて、農林漁業や農山漁村が発展することを目的に開催されています。

本県からは、高千穂町下野西集落が「中山間地域等直接支払制度を活用したむらづくり」について発表しました。審査員からは、「集落内の問題、その解決策が時間をかけて話し合わせ、あせらず一つずつ取り組んでいることが、よく分かりました。」と高い評価を得ていました。



かぐら衣装等の展示品について説明した江藤むら子さん（右）と甲斐加代子さん

## 「高千穂の森と杜を訪ねて」

NPO法人MORIMORIネットワーク（代表：山縣睦子）と高千穂森と杜実行委員会による「高千穂の森と杜を訪ねて」は、5月15日と16日に、高千穂町岩戸五ヶ村の神楽の館を主会場に行われました。

県内外から約130人が参加し、フォーラムや交流会、観光、体験活動を通じて、自然の大切さや21世紀の森づくりについて考えました。

フォーラムは、同ネットワーク副代表でメディアパーソナリティの芳村真理さんをコーディネーターに、俳優で民話収集家の山口崇さん、山東昭子参議院議員、土井裕子NPO法人五ヶ瀬川流域ネットワーク理事長、漁業者代表の岩切秀徳さん、地元高千穂の「わくすず千年樹



活発な討論が交わされたフォーラム

の会」から佐藤光会長、工藤謙一会長代理、飯干清喜副会長、飯干淳志事務局長の4名と佐藤イサ子さんが登壇し、森、川、海について討論が行われました。

## 国見大橋がPC技術協会賞を受賞

昨年11月に開通した「国見大橋」が、「天翔大橋」に引き続き、社団法人プレストレストコンクリート（PC）技術協会から、「PC技術協会賞」を受賞し、5月26日に東京で授賞式が行われました。



授賞式には、国見大橋の工事を担当した支庁農政水産課の長池主任技師が出席



表彰状と盾をいただきました。

プレストレストコンクリートとは、コンクリートにあらかじめ計画的に圧縮応力度（プレストレスト）を与えることにより、荷重によって生じる引張応力と相互に消しあうように設計・施工されたコンクリートのことです。



国見ヶ丘から撮影した国見大橋

## 菜種刈り体験

高千穂町三田井の浅ヶ部地区では、6月5日に、農村体験教室「菜種刈り体験」を開催しました。癒しの周遊空間づくり推進協議会と浅ヶ部公民館が主催。



約30人が菜種刈りを楽しみました。

浅ヶ部地区では、有志により、景観美化を目的に休耕農地を利用して菜種の栽培を行っています。

今回、収穫時期を迎え、都市と農村住民の交流を兼ねて実施しました。参加者には、後日、収穫した菜種から絞った菜種油がプレゼントされます。

## 編集後記

「全国野鳥保護のつどい」まで、あと1年足らずとなりました。同つどいのイベントの「野生のいきものふれあい講話」と「TRトロッコ列車に乗って早朝探鳥会」に参加しました。これまで鳥が鳴いているのも耳に入らなかったのですが、最近はかなり鳥の姿や鳴き声に敏感になっています。日本野鳥の会の永田先生の「野鳥よもやま話」によると、鳥は夜明け頃にお腹がすいて、活動が活発になるそうです。このため、探鳥会は早朝に行われます。また、四季見原キャンプ場や三秀台等では、鳥のさわやかな鳴き声で目覚めることができ、得した気分になるそうです。皆さんも是非、身近な所で味わってみてください。修

\* 西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などがありましたら下記までご連絡ください。

### お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課

TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

## 西臼杵支庁だより

### 西臼杵支庁新任者研修会開催

西臼杵支庁に初めて赴任した職員を対象にした支庁新任者研修会が6月4日に行われ、新任者17名が支庁各課の業務概要や西臼杵生活の留意事項について研修しました。



業務概要の説明を受けている参加者

西臼杵支庁は、県内唯一の総合事務所であり、総務課、福祉課、農政水産課、林務課、土木課が一元的に仕事をしています。

各課が連携を図りながら業務を進めていくためには、他の課の業務内容を理解しておくことが大切であるということから、今回初めて開催しました。

また、西臼杵生活の留意事項では、医療機関、お薦めの観光スポットやジョギングコースの紹介がありました。



土木課の砂防事業の現場説明

### 内倉主幹が用地職員功労者表彰を受賞

支庁土木課の内倉主幹兼用地係長は、公共用地取得業務に長年携わった功績により、九州地区用地対策連絡会主催の平成16年度用地職員功労者表彰を受賞しました。



事業説明会で説明する内倉主幹